



就労系福祉サービス事業所検討会 定期開催中！ Part.5

当センターでは、就労系福祉サービス事業所の支援員の皆様から、横のつながりを作ることや一緒に悩みを話し合う機会があると良いという声をいただき、前年度より研修等を実施しています。

つきましては、1月26日開催内容についてご報告いたします。今回の検討会では、支援者と評価が異なる利用者について、どのような関わりをしていくとよさそうか、事例を用いて具体的に話し合っていました。

第6回 1/26（木）

テーマ：利用者のアセスメントについて ～支援者と評価が異なる利用者への関わり～

＼過去最多／

計16名にご参加
いただきました

自己評価と他者評価にずれのありそうな利用者をピックアップしていただき、右図のような就労アセスメント表にご本人と支援者として評価を記入していただきました

項目	自己評価	他者評価
1. 就労意欲	高	高
2. 生活リズム	高	高
3. 生活面	高	高
4. 作業能力	高	高
5. 社会性	高	高
6. 学習能力	高	高
7. 自己管理能力	高	高
8. 他者との関係性	高	高
9. 自己評価と他者評価の差	高	高

ずれといっても、様々なタイプがありました

- ご本人の自己評価が高い
- ご本人の自己評価が低い
- 作業はできるが、生活面が整っていない
- 支援員の評価は高いが、ご本人の就労意欲が低い 等

今回は以下の事例を
みなさんと深掘りしました

「ご本人の自己評価が高く、支援員として見立てが低い方へのアプローチ」

挙げられた意見

適切な言葉遣いができるように
ご本人の気づきを促すような
アプローチがあればいいかも

事例提供いただいた支援員の方より

- ・事業所内だけでは出ないような案をたくさんもらった
- ・まだまだ支援できることがあると気付けた

ケア会議で目標を共有
してみてもどうだろう



就職に向けた支援を行う上で
ご本人に関わる関係者の
役割も確認できました

モチベーションが上がっている
ときを観察し、強みを見
つけてみるのは？

相談支援専門員・福祉サービス
事業所・だいちの役割を明確化し
て多機関連携することが大切

次回のお知らせ

☆2月16日（木）15:30～17:00

テーマ：精神・発達の特徴がありコミュニケーション上の課題がある方
に対する就労支援の方法とは

話題提供者：街のパン屋さん サービス管理責任者 古村杏奈 氏

場所：帯広市保健福祉センター 3F 視聴覚室

（開催場所につきましては、当日玄関にも貼り出します）

対象：就労系福祉サービス事業所に従事されている方、ご興味のある方
ご不明な点等ございましたら、当センターまでお問い合わせください。

担当：福山・佐藤(尚)

新規のご参加も
お待ちしております！

バックナンバー

この会のチラシ・過去の案内
について掲載しています。

・[検討会チラシ](#)

・[定期開催 Part.1](#)

・[定期開催 Part.2](#)

・[定期開催 Part.3](#)

・[定期開催 Part.4](#)